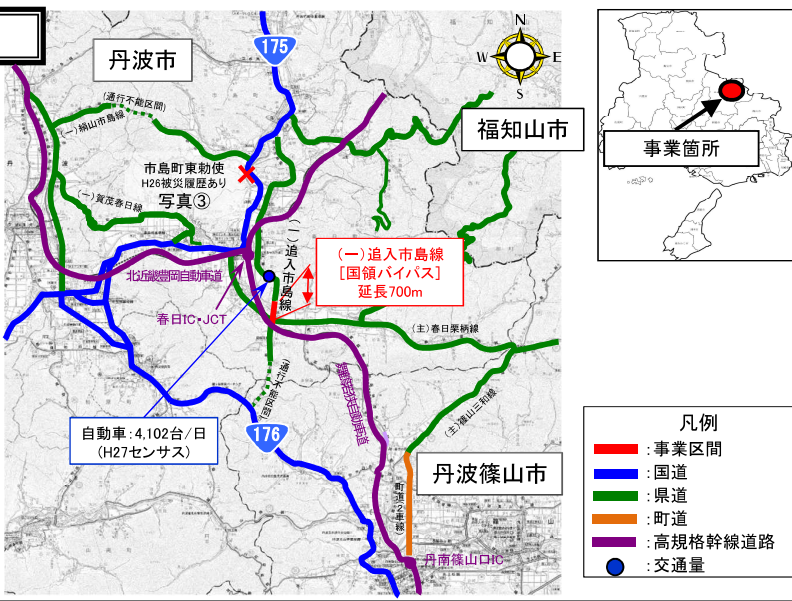


道路事業 一般県道 追入市島線〔国領バイパス〕

位置図



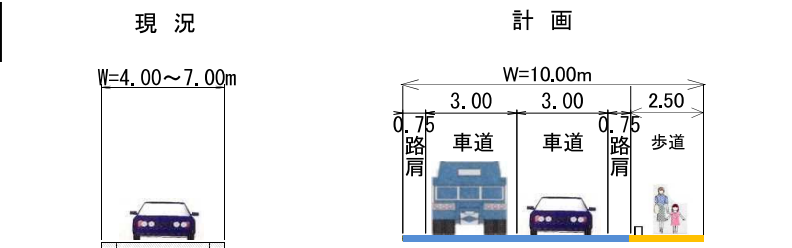
目的

- ①安全・安心で円滑な交通の確保
- ②通学路での安全確保
- ③地域間の交流・連携の促進

事業概要

事業区間：丹波市春日町国領こくりょう
 総事業費：5,5億円
 内用地補償費：2.1億円
 事業期間：R4～R9
 事業概要：バイパス
 延長：700m
 計画幅員：6.0(10.0)m
 計画交通量：3,700台/日(R12推計)
 費用便益比B/C：1.3

横断面図



工程表

工種	年度					
	R4	R5	R6	R7	R8	R9
調査・設計						
用地補償						
道路改良						

事業の必要性・優先性

- ①幅員狭小で車両同士の離合が困難であり、また、避難所への緊急車両等の円滑な交通も確保できていない状況である。
- ②幅員狭小で歩道也未整備であり、通学路安全対策プログラムに位置づけされている。バイパスを整備し、歩道を設置することにより、通学児童の安全を確保する。
- ③本路線は、国道175号を補完し、県道春日栗柄線等と接続することで、福知山方面と丹波篠山市方面を連絡する役割を担っている。バイパス整備により、唯一残る未改良区間の解消を図り、地域間の交流・連携を促進する。

現況写真

①車両の離合が困難

②幅員が狭く歩行者が危険(通学路指定)

③【国道175号 東勅使 H26丹波豪雨災害】

平面図

